

短 報

のとじま臨海公園水族館における鯨類の漂着・迷入及び入網の記録 IV

高橋 勲

のとじま臨海公園水族館 〒926-0216 石川県鹿島郡能登島町字曲15-40

Records of stranding, straying and accidental net catches of cetaceans confirmed by Notojima aquarium IV.

Isao Takahashi

Notojima Aquarium, Magari 15-40, Notojima-machi, Isikawa 926-0216 Japan

はじめに

当館では1982年の開館以来石川県沿岸に来遊する魚類・海産哺乳動物等を対象に種々の調査、研究を行っており、鯨類の漂着・迷入及び入網の記録もその1つである。能登半島沿岸では以前からカマイルカ (*Lagenorhynchus obliquidens*) の漂着・入網が多いことは過去のデータからも明らかになっている(表1)が、近年オウギハクジラ (*Mesoplodon stejnegeri*) の漂着が増加している傾向にあり、これは日本海沿岸地域に共通したものと見える。こうした漂着個体調査データの蓄積によってオウギハクジラをはじめ能登半島沿岸に棲息する鯨類の生態が少しでも解明されるものと考えられる。本稿では桶田(1999)が報告した1999年3月以降の1999年4月から2001年5月までの期間に確認した漂着・迷入及び入網鯨類(表2)について報告するとともに過去のデータとの比較もあわせて行った。

結果と考察

1. 確認した鯨種とその傾向

今回の調査期間中に確認した鯨類は4種16件17頭で内訳は以下ようになっており、オウギハクジラが全体の半数近くを占める結果となった。

オウギハクジラ <i>M. stejnegeri</i>	7件	7頭
ハナゴンドウ <i>Grampus griseus</i>	4件	5頭
カマイルカ <i>L. obliquidens</i>	3件	3頭
バンドウイルカ <i>Tursiops truncatus</i>	2件	2頭

これは過去のデータに比べ急激な増加傾向を示しているが、これが一過性のものであるのかあるいは継続的なものであるかは現時点では断定できず、今後更なるデータの蓄積が必要と考えられる。ハナゴンドウについても同様の傾向がみられるが、通常本種は比較的温暖な海域に棲息するとされておりこれに関しても今後の漂着、目撃等の情報に注目していきたい。

2. 確認した鯨類の季節的特徴

今回確認した16件はすべて1月から5月までの時期となっており、過去のデータに関してもそのほとんどが12月から4月の冬・春季に集中している(図1)。

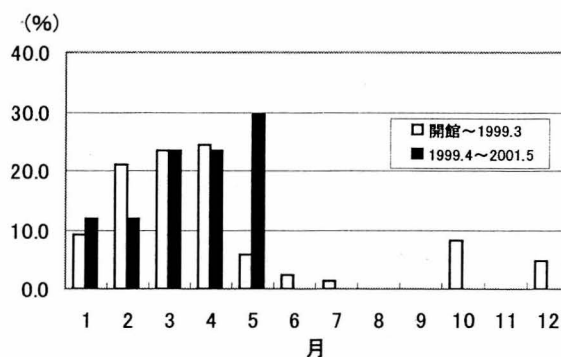


図1 確認した鯨類の月別割合

この時期の日本海は大陸からの卓越した北西風によって荒天や時化の日が多くなり、気温も0度を下回ることもある。こうした厳しい気象条件が漂着鯨類の死亡原因に何らかの影響を与えているのではないかと推測される。

まとめ

今回確認した16例と過去のデータとの比較では、鯨種に関しては異なる傾向が見られたが、季節的な特徴は同様な結果となった。今後は水温・気象状況・餌生物などの情報とあわせて分析を行っていききたい。また、より新鮮でより多くの試料を得るためにこうした調査に対する地域住民や自治体への理解をさらに深めていく努力が必要であろう。

表1 開館(1982.7)～1999.3までの確認鯨類の数

種 類	件 数	頭 数	割合(%)※
カマイルカ	33	52	60.4
イシイルカ	10	10	11.6
オウギハクジラ アカボウクジラ科 sp メソプロドン属	7	7	8.1
バンドウイルカ	2	6	7.0
マイルカ	4	4	4.6
ミンククジラ	3	3	3.5
ハナゴンドウ	1	1	1.2
オキゴンドウ	1	1	1.2
ナガスクジラ	1	1	1.2
オガワコマッコウ	1	1	1.2
計	63	86	100.0

※割合は頭数で算出したもの

表2 能登半島沿岸における1999.4～2001.5の間の鯨類の漂着・迷入及び入網の記録

No.	年月日	種 類	体長(cm)	性別	確認地点	備 考
1	1999. 5. 5	カマイルカ	190	不明	七尾市三室町	漂着・死亡
2	2000. 2. 22	バンドウイルカ	235	オス	穴水町前波	刺し網に絡まり死亡
3	2000. 3. 9	カマイルカ	215	オス	門前町黒島築港	漂着・死亡
4	2000. 3. 14	ハナゴンドウ	270	メス	七尾市庵町	沖合いの定置網に入る・放流
		ハナゴンドウ	230	メス	〃	〃
5	2000. 3. 17	オウギハクジラ	510	メス	輪島市大沢町	漂着・死亡・解剖後科博へ移送
6	2000. 4. 4	オウギハクジラ	483	メス	富来町福浦	漂着・死亡・解剖後科博へ移送
7	2000. 4. 4	オウギハクジラ	468	オス	七尾市大野木町	漂着・死亡・解剖後科博へ移送
8	2000. 5. 10	オウギハクジラ	490	オス	内浦町小木	漂着・死亡
9	2000. 5. 23	カマイルカ	96	オス	能都町小浦	漂着・死亡・当館の記録では最小
10	2001. 1. 22	ハナゴンドウ	345	メス	穴水町内浦	漂着・死亡・科博へ移送
11	2001. 1. 30	オウギハクジラ	510	オス	志賀町赤住	漂着・死亡
12	2001. 2. 21	バンドウイルカ	200～230	不明	能登島町曲(水族館前)	湾内迷入・数日後泳ぎ去る
13	2001. 4. 9	オウギハクジラ	480	オス	志賀町安部屋	漂着・死亡
14	2001. 4. 19	オウギハクジラ	490	メス	七尾市東浜港	漂着・死亡
15	2001. 5. 2	ハナゴンドウ	275	メス	能登島町野崎	漂着・死亡
16	2001. 5. 8	ハナゴンドウ	250	不明	羽咋市千里浜	漂着・生存・放流